



保険証の存続を求める署名提出集会

日時 11月28日(木) 12時～13時

会場 参議院議員会館・講堂

主催 全国保険医団体連合会 共催：マイナンバー制度反対連絡会



＜集会プログラム＞ 12：00～13：00

○開会挨拶

○国会議員挨拶 ※「保険証残せ」請願署名提出

○リレートーク

○行動提起

○閉会挨拶

健康保険証を お持ちください

マイナ保険証に登録した場合も、トラブル時の予備として保険証をお持ちください

政府は2024年12月2日に、いまの健康保険証の新規発行をやめ、マイナ保険証に切り替えようとしています。でも、すぐにマイナ保険証をつくらなくても大丈夫です。



▲健康サポート
くん

▲マイナ保険証のアプリを通う
保険くん

今の保険証が12月2日以降も有効期限まで使えます。

有
効期限の差

国保に
加入



自営業者のあなた

25年7月まで※
いまの保険証が使えます

※自治体によって異なります ※住所が変わらない限り

後期
高齢者



75歳以上のあなた

25年7月まで※
いまの保険証が使えます

※住所が変わらない限り

社会保険
に加入



会社員のあなた

25年12月1日まで※
いまの保険証が使えます

※職場が変わらない限り

有

効期限後は…

ほろろど!



「資格確認書」で 受診できます!

マイナ保険証がない方には「資格確認書」が自動的に交付されます。
資格確認書は、いまの保険証と同じ様式です
(紙・プラスチックのカード)。

マ

マイナ保険証をやめたい



マイナ保険証の 登録解除ができます!

マイナ保険証の利用をやめたい場合は、「**保険者**」に「**解除申請書**」を提出してください。
資格確認書が発行されます。
マイナ保険証利用登録解除の最新情報はコチラ▶▶▶

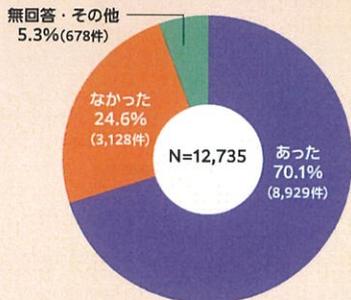


医療現場のマイナトラブルは未解決!

2024年5月以降のマイナトラブル調査(最終集計)約1万3千医療機関からの回答

今年5月以降のマイナ保険証、オンライン資格確認のトラブル・不具合

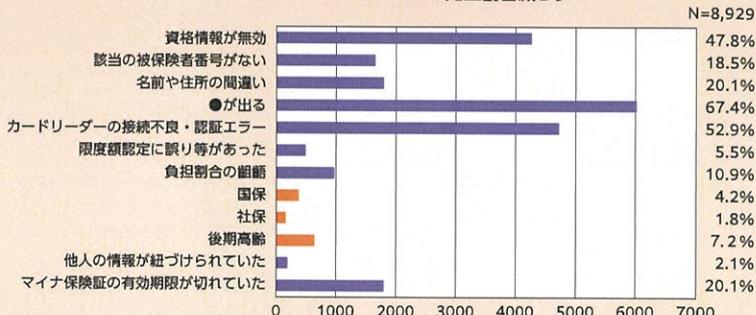
7割の医療機関で今もトラブル発生
前回調査より約10%増加



トラブルの類型

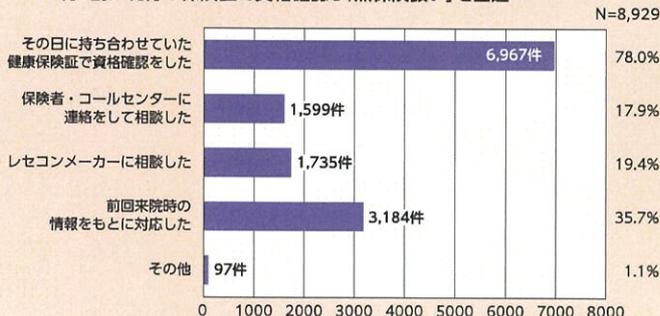
「あった」と回答した医療機関(複数回答)

「資格無効」などシステムの根幹に関わる
トラブルの発生割合減らず

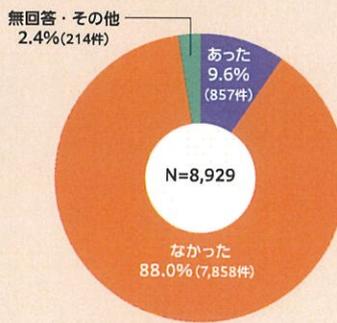


トラブル・不具合への対応(複数回答)

約8割は現行の保険証で資格確認し「無保険扱い」を回避

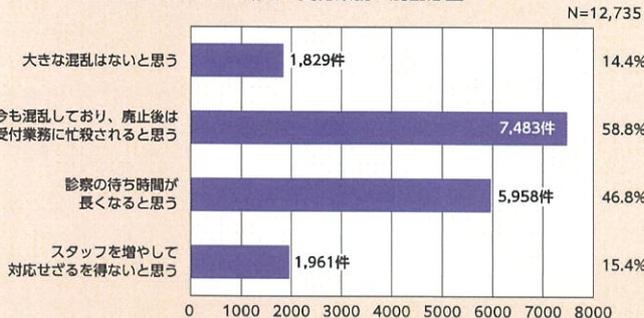


トラブル対応で、「一旦10割負担を患者に請求した」



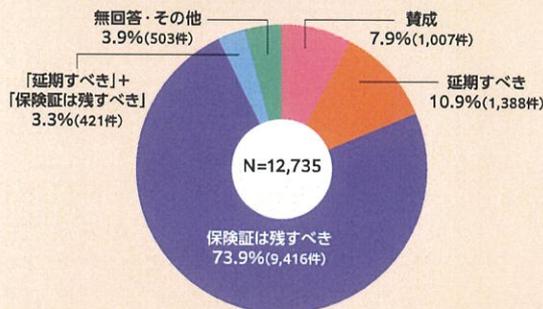
保険証が廃止された場合の受付業務(複数回答)

保険証が廃止された場合の受付業務は混乱必至



保険証が今年12月2日に廃止されることについて

廃止の延期、保険証を残すべき 約9割



2024年5月以降のマイナトラブル調査(最終集計)具体的な事例より

- 実際は資格無効の保険情報が有効と表示されていたのでそのままレセ請求を行った。後日、資格なしで返戻となり、患者とも連絡がつかず結果マイナスとなっている(沖縄・歯科診療所)
- 「無効」と表示されても理由が不明の場合が多い。その際の患者様とのやりとり等に時間がかかる(東京)
- 負担割合が違っており患者さんに次回受診の際、説明とおわびをして差額分をもらわないといけない(福岡・医科診療所)
- 後期高齢の方で、マイナ保険証で資格確認した割合で保険請求したが、割合が違い、返戻された(愛知)
- 8月になって、後期高齢の割合誤りが多い。市役所に問い合わせても「わからない」と言われる(岐阜・病院)
- 有効期限と割合については対応していないように思う。確認に手間がかかる(山梨・医科診療所)
- 名前が●になっているので再来の人でも新規患者扱いになる(佐賀・医科診療所)
- 名前の一部が●で表示されることは度々ある。(新規患者の方にはその都度確認が必要になってしまう)(神奈川・医科診療所)



調査概要

調査期間：2024年8月6日～9月30日
 調査方法：保険協会・医会が会員へFAXで送付(保連が一括集計)
 送付件数：67,112件(39都道府県*)
 回答件数：12,735件(回答率19.0%)
 *39都道府県(43協会・医会)

医療機関の区分

医科診療所	8,529	歯科診療所	2,574
病院	754	無回答・その他	878

全国 保険医新聞

11月15日

2024年

発行所/発行人
全国保険医団体連合会
〒151-0053 東京都渋谷区
東大木2-5-5
東大木協会の会館内
〒03-3375-5121
03-3375-1885
編集長 竹田 智雄
増穂口 00160-0-140346
購読料 年11ヶ月750円
(会員の購読料は会費に含まれています)

主な記事

マイナ保険証利用率 2

厚生労働省は、国家公務員のマイナ保険証利用率を公表した。13.58%は国民全体の利用率より低い

2 高齢化社会の医療需要の多様化への対応

勤務医コラム103

6 回診、回診、回診の新設

歯科科改定解説⑥

6 歯科医療費総枠拡大で技工問題解決を日技・森野会長と懇談

希望する全ての人に届け

7 ワクチンパレード2024

日本被団協のノーベル平和賞受賞に

7 被団連会長声明

年内の協定締結

8 再届出をお忘れなく

外来感染対策向上加算

8 入選句発表

医療研究フォーラム

フォローして最新情報をキャッチ



https://hodanren.doc-net.or.jp/

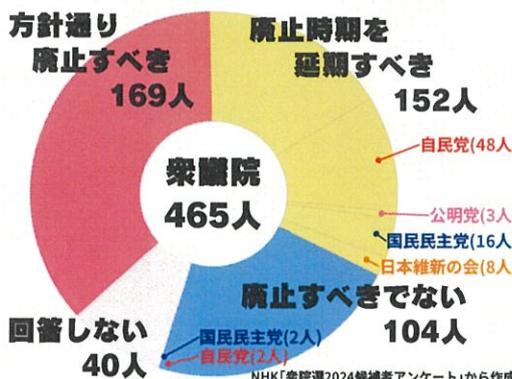
当選者の過半数 「保険証は今のまま」

55.1%

「廃止すべきでない」 「廃止延期すべき」

第50回衆院総選挙は10月27日、投票され与党過半数割れとなった。選挙にあたりNHKが候補者アンケートを行い、「マイナ保険証で保険証廃止の是非」を問うていた。衆議院465人中、「廃止すべきでない」「廃止時期を延期すべき」と答えた当選者は256人により議席比率は55.1%となった。政府は、12月の保険証廃止の方針を見直すべきだ。

10月27日に投票された第50回衆院総選挙では、自民党が候補者アンケートを行った。NHKは、候補者、政治と与野党の問題や経済政策など、さまざまなテーマについてアンケートを実施。社会保険の分野で、マイナ保険証で保険証廃止の是非について、18議席に減らした。NHKは、候補者、政治と与野党の問題や経済政策など、さまざまなテーマについてアンケートを実施。社会保険の分野で、マイナ保険証で保険証廃止の是非について、18議席に減らした。



NHK「衆院選2024候補者アンケート」から作成
当選者465人中「廃止時期を延期すべき」と答えたのは152人、「廃止すべきでない」と答えたのは104人、合わせて256人を上回った。(55.1%)に上った。昨年の保険証廃止法案に「賛成」した政党でも今回のアンケートで「廃止時期を延期すべき」と答えた議員は、自民(48)

協会けんぽでも「解除」受付開始 250超自治体で既に案内も

協会・医会、保団連は、与野党問わず、患者、国民、医師・歯科医師の要求実現に尽力する国会議員を一人でも増やそうと努力してきた。総選挙にあたり実施したマイナ保険証トラベル調査第4弾の結果の発表や、議員、政党アンケートなどに取り組み、「保険証を残す」ことの争点化に結び付けてきた。今回の選挙結果は、「保険証を残す」運動で示された協会・医会、保団連の存在感、運動の力量、熱意が与野党、所属政党・会派を越えて、多くの国会議員を動かすことができた条件が整った。野党第一党の立憲民主党代表は、開票作業が進む中、今後、優先したい政策として「現行保険証の存続」を挙げた。政府は、当選議員がアンケートで回答した「公約」実現のため、12月2日の保険証廃止の方針を見直すべきだ。

健康保険証をお持ちください
「資格確認書」で受診できます！
マイナ保険証の登録解除ができます！
協会けんぽでも「解除」受付開始
250超自治体で既に案内も

新年特集号投稿募集
【応募要項】
・テーマは自由。エッセイ、俳句、川柳、詩、写真などを歓迎します
・投稿は1点のみ
・写真と原稿を組み合わせたいものはご連絡ください
・原稿字数は600字、写真は4切りサイズまで
・締め切り：12月2日(月)必着
【応募先】
・住所、氏名、年齢、メールアドレス、ファクス番号(著者校正用)、電話番号をお書き添えの上、下記の宛先までお送りください
Eメール: shinbun-toko@doc-net.or.jp
ファクス: 03-3375-1885
郵送: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5
※原稿・写真の返却はいたしません

総選挙の結果、問答無用政治の鉄壁が崩れた。自公与党の過半数割れである。裏金問題や裏公認問題が国民の怒りを招いている結果だが、マイナ保険証の強引な普及で政府への不信が広がったことも影響したのではないかと、「保険証存続」を政策に掲げた政党が大いに伸びた。マスコミの影響も大きい。テレビ朝日は直前のモーニングショーでマイナ保険証トラベル問題を30分に凝縮してよく伝えてくれた。保団連調査を元ネタに「トラベル木具多発」を訴え、このまま保険証廃止が強行されたら大混乱、まずは現行保険証を残しつつ、マイナカードの利用を穏やかに進めるのが最善の策と述べていた。コメンテーターの玉川徹氏が雄弁に語ってくれた。石破内閣を「手のひら返し」と銘打って、選挙前の各党の方針まで紹介してくれた。▼そもそもこの問題は河野太郎前デジタル相がたまたまに強引過ぎたというだけではない。医療DXの背景には医療費圧縮を狙う政府財界の黒い意図が見え隠れする。監視社会につながるマイナカードそのものの問題点もあり、われわれはここを必死に強化しつつついに走り続ける必要がある。(くまの)

国家公務員13.58% < 国民13.87%

国も国民もマイナ保険証「低迷」

マイナ保険証利用率(9月)

国民	13.87%
総務省	19.42%
厚労省 (第一)	19.62%
内閣府 (デジタル庁)	16.06%
外務省	10.53%
防衛省	10.69%
国家公務員	13.58%

保険証の新規発行停止まで1カ月を切ったが、国民全体のマイナ保険証利用率(9月)が13.87%、国家公務員の利用率も13.58%と低迷している。デジタル相会見でデジタル庁の利用率について質問した。

厚労省は11月2日、24年9月の国家公務員共済組合のマイナ保険証の利用率状況を公表した。9月のマイナ保険証利用率は13.58%となり、国民全体の同月利用率(13.87%)を0.29%下回った。厚労省、総務省、デジタル庁(内閣府本府支部)を含む各庁は国平均より高いものの、利用率は2割にすら到達していない。

ない。外務省、防衛省などは国平均より低く10%台にとどまった。

保団連は11月5日、デジタル大臣記者会見で25年3月に一体化されるマイナ免許証では免許証は残るのにマイナ保険証は保険証が廃止される。両者の対応の違いについて「マイナ保険証の利用率の低下を懸念し、国民に広報すべきではないか」と国家公務員のマイナ保険証利用率が国民より低い問題を追及した。

運用3年でも
トラブル続き

平将明デジタル大臣は、マイナ保険証利用率登録解除について、「デジタル庁HPにて広報している」「マイナ保険証は運用

開始から3年が経過しているのに健康保険証を廃止するが、マイナ免許証はこれから議論」と見解を示した。

「ええ、なるわけではないう。最大の不安払拭法は保険証残すこと」

さらに、デジタル庁職員をはじめ国家公務員のマイナ保険証利用率が国民より低調であることについて、「デジタル庁職員は適用力が極めて高い」と述べただけで、利用率が低調な理由には言及していない。

政府は、「マイナ保険証がなくても医療が受けられる」と広報し高齢者の不安払拭を徹底するとしている。それでもあれば、マイナ保険証利用推進は中止し、▽新規発行停止しても最大1年間現行の保険証が使えること▽マイナ保険証の利用登録をしていなくても資格確認書で受診できること▽マイナ保険証の利用登録解除ができること」を積極的に広報すべきだ。そして、最大の不安払拭は、現行の健康保険証を残すことだ。

保団連は「運用開始から3年経過してもマイナ保険証利用率が13%と低調なままであり、マイナトラブルは減るどころか増加傾向にある。少なくとも12月2日の新規発行停止は延期すべき」と指摘した。平大臣は「12月2日ですぐに保険証が使